

## 2014－15年度 第8分区IM開催

IM実行委員長 小川隆秀(村田RC)

2015年3月28日(土)、124名のロータリアンのご参加をいただき、村田町菅生「スポーツランド SUGO」にて、午後1時30分から開催されました。当日は、素晴らしい天気恵まれ、開催場所から見える蔵王連峰の景色は、誠に見事なものでした。

今年度のIM大会のテーマは、山口ガバナーによる第2520地区スローガンに掲げられている『子どもたちが夢を抱ける地域づくり』とすることに決定され、準備が進められました。

幸い、村田町の菅生地区で、子どもたちに深い愛情を注ぎ、地域づくりに取り組んでおられる妙頓寺(真宗・大谷派)ご住職の久保田得隆氏から、その実践内容についてご講演をいただく機会を得ました。

IM大会は、最初に大沼所左衛門ガバナー補佐の開会点鐘で始まり、IM実行委員長から今大会の趣旨説明があり、開会の挨拶を大沼所左衛門ガバナー補佐が、ホスト役の村田RC大沼俊市会長の歓迎挨拶が行われました。その後、ご来賓としてご出席をいただきました第2520地区山口淑子ガバナーから、今回のテーマに基づく講演会につきまして、講演内容への期待が述べられました。引き続き、講演会に移り、演題は、「心豊かな子どもを育てる心の寺子屋」で約1時間10分のお話しでした。

地域の小学校が、少子化で統廃合となり、閉校になることから、問題意識を持って考える様になった。久保田氏は、『産土』という言葉が頭に浮かび、「故郷」即ち自分が生まれた土地であり、自分を育ててくれた土地、そしてその範囲は子どもの足で歩いて行ける位のところ、今でいう地産地消の範囲が『産土』であると述べております。子どもたちが統合小学校に通うと「菅生の子ども」が「村田の子ども」になり、『産土』での子どもたちの交友関係・人間関係が無くなるのではないかと、希薄になるのではないかと心配になった。その結果、故郷という概念が無くなってしまったとのことでした。その様なことから、自分に何か出来ることがないかと考え、平成18年8月に「子ども会」を発足させた。第1回は、「妙頓寺夏休み子ども会」としてスタートし、参加者が少ないのではと心配したが、36名の参加で予想以上の盛況であった。地域の檀家さん、協力者、保護者等大勢の支援をいただき、以降、毎年30名位の参加者で、楽しく子ども会を実施しているとのことでした。また、現在では、毎月一回の子ども会が開催されております。特に、子どもたちへの「躰」の面では、口うるさく指導しておられ、外部から来られる方々は、一様にその素晴らしさに驚かれるとのことでした。

ご住職さんは、自分の産土・生まれ故郷を大切にす、その様な子どもたちに、そして人間に育ってくれることを願いとして、心豊かな子どもを育てる「心の寺子屋」を肩肘張らずに、楽しく永く続けたいと思っておりますとのことで、講演会は結びとなりました。

引き続き、第8分区板橋敏之ガバナー補佐より、次年度のIM担当クラブとして、丸森RCが担当することとなっていることが発表され、閉会点鐘となりました。

その後、休憩を挟んで、第二部に友愛の会(懇親会)に移り、出席者全員で乾杯をし、楽しく懇談を重ねました。最後にロータリーソング「手に手つないで」を全員で歌い、散会となりました。